

焼混 LPG
トラック
LPG

「ともに普及を」

だるまエナジー 古田社長
道協幹部にアピール



ハイパーLPGトラックについて説明する古田洋二社長

だるまエナジー(本社・東京)の古田洋二社長が7月23日、北海道LPGガス協会(阿波嘉克会長)を訪れ、開発中のLPGガ

スと軽油のデュアルフューエル「ハイパーLPGトラック」を紹介した。この日、道協本部で開かれた理事会終了後、古

田社長が阿波会長ら執行部や支部長にハイパーLPGトラックについて熱く語った。同トラックはLPGガスと軽油を混焼させることで、軽油だけを使った場合に比べ燃料コストを15%削減できる点が最大の特徴。燃料2種類の活用により、航続距離が2倍になるメリットもある。市販の4トトラックをベースにした改造車による実証実験では、燃費、航続距離ともにほぼ想定通りの好結果を残していることを併せて解説した。

古田社長は「デュアルフューエルの技術は既に確立され、世界各国に普及している。シェールガスの輸入本格化を契機にLPGガス価格が下落する可能性が高いなか、ガス需要の拡大を図るうえで極めて有用な技術」と強調した。タクシーの減車の影響からLPGガスタンドの減少に大きな危惧を抱いているとも語り、「当社はこれらすべての課題を一気に解決できるワンストップサービスを目指す。ぜひ一緒にやりましょう」と北海道での技術の定着と普及を呼びかけた。

訂正： 4トントラックをベースにした ⇒ 2トントラックをベースにした